## 5 万分の 1 地質図幅「新潟及び内野」地域が「地盤工学会出版賞」を受賞

平成 28 年度 6 月に出版されました「5 万分の 1 地質図幅「新潟及び内野」地域」が「平成 28 年度地盤工学会出版賞」を受賞し，著者である鴨井幸彦氏（株式会社村尾技建），安井　賢氏（甲賀地盤調査），卜部厚志氏（新潟大学災害・復興科学研究所）の三氏が表彰されました．表彰式は 2017 年 6 月 9 日に地盤工学会（東京都文京区）で開催されました．地盤工学会出版賞とは，平成 28 年度に新設された賞で，地盤工学の発展あるいは普及に貢献した出版物を対象とし，その著者に授与されるものです．

主な受賞理由は，1）膨大な地盤情報をもとに表層地質と地下地質を区分して記載し，土地利用計画はもとより防災・減災計画，郷土研究・教育等に利活用できる細分化した地形・地質情報を取りまとめたこと，2）図幅範囲全体が完新統から構成される地域の地質図の作成は国内初であり，地質学と地盤工学を繋ぐ先駆的な取組みであること，3）6 千本以上のボーリングデータをもとに，表層地盤を 20 個の凡例に細分化し，地盤特性や形成史が分かるよう表現することで，実務上の有用性を高めていること，4）石油・天然ガス，海岸侵食，液状化等の地盤災害，河川氾濫に伴う水害，地形改変等の応用地質など多彩な情報を盛り込んでいることが挙げられています．

表彰式の様子．鴨井幸彦氏（左）と村上　章地盤工学会長（右）．

著者である三氏は新潟県に根ざした地質・地盤研究を永年実施しており，今回受賞した地質図幅は三氏の研究の集大成の一部です．地質調査総合センターの重点プロジェクトとして実施された越後平野における沿岸域の地質・活断層調査「新潟沿岸域」の研究成果もこの地質図幅には活用されており，産学官の連携による大きな成果といえます．

**中島　礼（産総研　地質調査総合センター地質情報研究部門）**

## 地圏資源環境研究部門の三好陽子氏が「平成 28 年度日本粘土学会奨励賞」を受賞

地圏資源環境研究部門地圏化学研究グループの三好陽子氏が「平成 28 年度日本粘土学会奨励賞」を受賞されました．同賞は日本粘土学会の内規に基づき，「原則として 39 歳以下の会員であって，粘土科学に関する優れた研究をなし，粘土科学の研究の進歩発展に貢献が期待されるもの」に授与されるもので，受賞件名は「ベントナイトのメチレンブルー吸着量標準測定法の研究」です．

三好氏は，国内で統一された性能評価手法が確立していなかったベントナイトについて，その性能を評価するメチレンブルー吸着量試験の標準試験法の作成を目指して 2013 年より研究を進めて来られました．研究では，関連する民間企業を 1 つ 1 つ訪問し，各企業でどのような試験方法が行われているのかを調査し，試験手順の違いによって試験結果に相違が生じることを実験で明らかにしました．これらの結果をもとに，2 年間で 2 報のベントナイトに関する論文を報告し，地道な調査・実験により標準化の必要性を学会・業界に改めて認識させた功績が今回高く評価されました．

三好氏は今後も標準試験法の内容を具体的に作成し，関係者全員が納得できるような標準試験法の確立を目指すとともに，JIS 化に向けて研究を継続されるそうです．

三好氏の今後の更なるご活躍を期待しています．

授賞式後の三好氏．

**産総研　地質調査総合センター地圏資源環境研究部門**

# 地圏資源環境研究部門の徳橋秀一氏が新設の「石油技術協会特別賞」を受賞

地圏資源環境研究部門燃料資源地質研究グループのOBで，客員研究員の徳橋秀一氏が，2017年6月13日（火）に，国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された石油技術協会第82回定時総会において，石油技術協会特別賞を受賞されました．同賞は，昨年度新設された賞で，「石油・天然ガス鉱業界に極めて有益な活動を実施した個人会員または賛助会員」に授与されるものです．受賞件名は「石油技術協会特別見学会（地質編）の継続的実施」で，関東天然瓦斯開発株式会社の岩本広志氏，国末彰司氏及び企業としての関東天然瓦斯開発株式会社と共に第1号の同時受賞となりました．

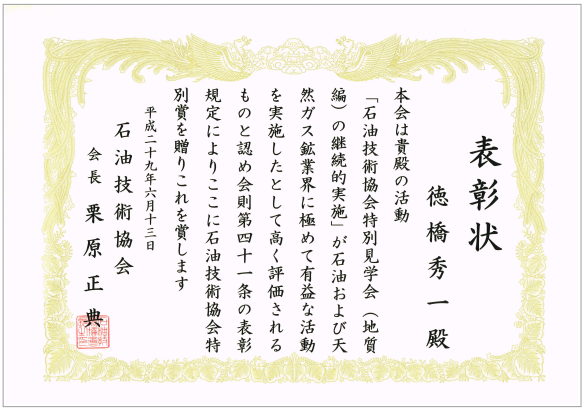
石油技術協会の特別見学会（地質編）は，石油技術協会のアウトリーチ活動として，徳橋氏の提案により2008年度（平成20年度）より始まった大型バスを使った日帰り見学会であり，毎年秋に房総半島で実施され，今年の秋で10年目になるということです．石油や天然ガスの開発（探鉱・掘削・生産）に対する普及と理解増進を目的に，地質や資源分野の学生・院生，資源開発関係の会社の事務職や若手技術者など資源開発に関心や関係を有する人など，すなわち，主に石油技術協会の会員以外の人を対象に，本邦の主要な水溶性天然ガス田（南関東ガス田）である房総半島において，天然ガス（およびヨウ素）の生産施設，天然ガスの自然湧出現場，貯留層であるタービダイト層を中心とする上総層群の地層露頭の観察を3本柱に実施されているということです．受賞の詳細と他の特別賞受賞者の情報については，石油技術協会のHP（http://www.japt.org/gyouji/hyosho/index.html　2017年6月27日確認）で閲覧できます．

なお，過去の特別見学会（地質編）の実施報告（写真付）や感想文も，石油技術協会のHP（http://www.japt.org/gyouji/kengaku/list.html　2017年6月27日確認）で閲覧することができます．

徳橋氏は，この特別見学会（地質編）の実施以前には，地方（新潟市や秋田市など）と交互に，隔年で東京において春（主に6月上旬）に開催されている石油技術協会総会と春季講演会のあとの会員向け見学会についても，それまで地方開催の場合にのみ実施されていた見学会を，東京開催の場合も実施することを提案され，1993年度以来，上記の特別見学会（地質編）開始時期まで，10数年にわたって中心的に企画し実施されてきたという経緯があるそうです．

今回の受賞は，合わせて25年間にわたる継続的な実施が評価されたもので，徳橋氏のこれまでの長年の貢献に敬意を表するとともに，今後のさらなるご活躍を期待いたします．

会長の栗原正典氏から特別賞を受け取る徳橋秀一氏（中央）．その後ろは，左より，同時に受賞した関東天然瓦斯開発（株）の岩本広志氏と国末彰司氏，それに，組織として受賞された関東天然瓦斯開発（株）を代表して受理された常務取締役の木村　健氏．



表彰状

徳橋秀一殿

本会は貴殿の活動「石油技術協会特別見学会（地質編）の継続的実施」が石油および天然ガス鉱業界に極めて有益な活動を実施したとして高く評価されるものと認め会則第四十一条の表彰規定によりここに石油技術協会特別賞を贈りこれを賞します

平成二十九年六月十三日

石油技術協会

会長　栗原正典

徳橋氏に授与された石油技術協会特別賞の賞状．

中嶋　健（産総研　地質調査総合センター地圏資源環境研究部門）

# 地圏資源環境研究部門の中嶋　健氏が「日本堆積学会 2017 年論文賞」を受賞

地圏資源環境研究部門燃料資源地質研究グループ長の中嶋　健氏が，2017 年 3 月 26 日（日）に，信州大学理学部において開催された日本堆積学会 2017 年松本大会の総会において，「日本堆積学会 2017 年論文賞」を受賞されました．同賞は日本堆積学会顕彰規定に基づき，「研究誌において堆積学に関わる優れた研究を発表し，堆積学の発展に寄与した者」に授与されるもので，堆積学に関するあらゆる国際・国内誌に出版された論文が対象となります．受賞論文名は，“Quantitative analysis of the geometry of submarine external levées” Nakajima T. and Kneller, B.C.（2013），*Sedimentology*，**60**，877–910 です．

中嶋氏は旧地質調査所入所以来 30 年近くにわたり，タービダイトの堆積学を中心に研究を続けてこられました．受賞論文は，2006 年から 2007 年にかけて日本学術振興会の特定国派遣研究者事業により，1 年間英国での在外研究を行った際の，アバディーン大学との共同研究に，帰国後の仕事を加えてまとめられたものだそうです．論文の内容は，海底谷の自然堤防の形態が，形成時の海底斜面傾斜や堆積物の粒度によって系統的に変化することを発見し，報告したものです．研究結果は，今後地下の地震探査記録から石油・天然ガスの良好な貯留岩を見分ける手法の開発につながると言うことです．論文内容については，地圏資源環境研究部門の GREEN NEWS 40 号にも解説されています（https://unit.aist.go.jp/georesenv/product/gn/green_news40.pdf　2017 年 6 月 29 日確認）．

この論文は，日英の共同研究によって，全球をほぼカバーする世界の 6 カ所の主要な海底自然堤防のデータを集めて解析したことにより，極めて一般性を持った結論が得られたこと，世界の主要な海底扇状地の貴重なデータベースともなること等が評価されて受賞されたとのことです．中嶋氏の今後のさらなるご活躍を期待いたします．

授賞式での中嶋氏（左）と高野　修堆積学会長（右）．（徳橋秀一氏撮影）

第 12 号

論文賞

中嶋　健殿

論文名：　Quantitative analysis of the geometry of submarine external levées
著　者：　Nakajima, T., Kneller, B.C.
掲載誌：　Sedimentology, 60巻, 877-910ページ, 2013年

上記論文は大変優れたものであり堆積学の進展に大きく貢献したものと認めここに日本堆積学会2017年論文賞を授与します

2017 年 3 月 26 日

日本堆積学会
会長 高野　修

中嶋氏に授与された日本堆積学会 2017 年論文賞の賞状．

産総研　地質調査総合センター地圏資源環境研究部門